

敦煌寫本研究年報

高田時雄 主編

第七號

2013年3月

京都大學人文科學研究所

中國中世寫本研究班

注 記

本誌『敦煌寫本研究年報』は京都大學人文科學研究所の共同研究班「中國中世寫本研究」班の報告である。この第七號には、2012年7月7日、同班の企畫に基づき、京都大學人文科學研究所「人文學諸領域の複合的共同研究國際據點」の主催で開催された國際シンポジウム「敦煌寫本と日本古寫本」の報告論文に、研究班例會のうちこのシンポジウムの趣旨に沿った論文一篇を加えて特集とした。本號に論文掲載を快諾された發表者各位に感謝したい。他の論文等は例年通りすべて研究班の成果であること云うまでもない。

目次

特集「敦煌寫本と日本古寫本」

- 從聖武天皇《雜集》的整理研究兼論其與敦煌文獻之關涉 王三慶 1
- 論日本藏敦煌寫本及古寫經靈驗記的價值 鄭阿財 23
- 敦煌《妙法蓮華經講經文》(普門品)殘卷新論 朱鳳玉 51
- 敦煌講經文類と『東大寺諷誦文稿』より見た講經に於ける孝子譚の宣唱
荒見泰史 69
- 『琉璃堂墨客圖』覺書——「句圖」・詩人番付と日本傳存資料 永田知之 91
- 敦煌遺書《比丘含注戒本》之基礎研究——寫本系統與成書年代
定源（王招國） ... 113
- 正倉院藏『王勃詩序』中の「秋日登洪府滕王閣餞別序」について
道坂昭廣 149
-
- 《華林遍略》乎？《修文殿御覽》乎？——敦煌寫本 P.2526 號新探 劉安志 167
- 『閻羅王授記經』寫經考——天堂へのパスポート 玄幸子 203
- 西方淨土變の白描畫
Stein painting 76, P.2671V の解釋について 大西磨希子 219
- 甲午年五月十五日陰家婢子小娘子榮進客目 赤木崇敏 241
- 古代チベット帝國の敦煌支配と寺領
——Or.8210/S.2228 の検討を中心に 岩尾一史 267

ハコを用いた封緘方法——敦煌書儀による一考察	山本孝子	281
羽 094R 「(擬) 天台智者大師智顛別傳」初探	佐藤礼子	297
舜の舌による瞽叟開眼故事の流布について	高井龍	313
敦煌本讚文類小考——唱導、俗講、變文との関わりより	徐銘	333
書道博物館藏吐魯番出土『左傳』服虔注殘卷について	白石將人	347
敦煌吐魯番學からみた東アジア博物學		
書評：余欣『中古異相——寫本時代的學術、信仰與社會』	岩本篤志	361

〔敦煌寫本研究年報 第七號〕

2013年3月31日發行

編者 高田時雄

發行者 京都大學人文科學研究所
「中國中世寫本研究班」

〒606-8265 京都市左京區北白川東小倉町47

Phone 075-753-6993 Fax 075-753-6999

ISSN 1882-1626